

授業科目名・形態	精神保健福祉制度論 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操・阿部俊彦	実務経験の有無	無	開講期	3年前期

【授業の主題】

本科目は精神保健福祉士に求められる諸制度の基礎知識を身につけ、制度の意義や目的の理解を深めるものである。授業では精神保健福祉士が相談援助活動を展開する上で不可欠となる精神保健福祉に関する制度とサービスについて学ぶ。

【到達目標】

- (1) 精神保健福祉法成立までの経緯と意義について説明できるようになる。
- (2) 精神保健福祉法の概要を説明できるようになる。
- (3) 精神障害者等の福祉制度や福祉サービスについて説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 社会保障全体からみた精神保健福祉に関する制度とサービス
- 第3回 精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化(1)
- 第4回 精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化(2)
- 第5回 精神保健福祉法の概要(1)
- 第6回 精神保健福祉法の概要(2)
- 第7回 精神保健福祉法の概要(3)
- 第8回 精神保健福祉法の概要(4)
- 第9回 精神保健福祉法の概要(5)
- 第11回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (1)
- 第12回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (2)
- 第13回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (3)
- 第14回 精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス (4)
- 第15回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式。本授業はコンピュータやプロジェクタを用いて、視聴覚プレゼンテーションの形式(スライド、映像等)で行う。また、学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを適宜実施する。

【授業準備】

精神保健福祉士国家試験必須科目。授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおくこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉援助技術各論 I・II、精神保健の課題と支援 I・II、精神科ソーシャルワーク論

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編：新・精神保健福祉士養成講座6 精神保健福祉に関する制度とサービス，中央法規，2018

【参考文献】

特になし。テキスト以外で必要なものは授業で紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は試験(70%)、レポート提出や授業への取り組み姿勢(30%)で総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めること。なお、精神保健福祉制度論 I と精神保健福祉制度論 II の科目は同じテキストを使用する。